

感染 県内初確認

新型コロナ 英在住40代女性 県出身 23日から始良滞在

鹿児島県は26日深夜、英国在住で、県出身の40代会社役員女性が新型コロナウイルスに感染したと発表した。女性は23日に帰国していた。鹿児島県内での感染確認は初めて。これで九州7県全てで感染が確認された。



県内初の感染者について説明する三反園訓知事(26日午後11時45分、鹿児島県庁(税所陸郎撮影))

女性は23日、英国からパリ経由で成田空港に到着。羽田空港を午後4時ごろ出発し、鹿児島空港に着いた。迎えに来た始良市の30代男性会社員の車で男性宅へ向かい、夕食後に発熱。38・6度の熱とせきの症状があった。

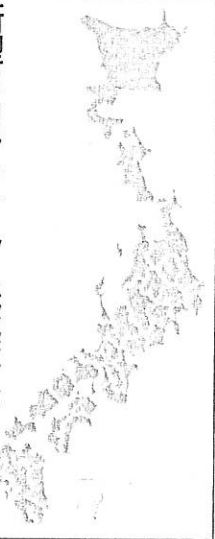
25日午後、始良保健所に健康相談し、26日に県内の帰国者・接触者外来を受診。検査を受け、午後10時半すぎに陽性が判明した。同日朝37・2度の熱があった。

23日午後7時ごろ、移動中にタイヨー重富店(同市)で夕食を購入している。鹿児島滞在中は常時マスクを着用していた。

一方、男性は24日、同市内の会社にマスクを着用して出勤した。25日は休みで、26日は女性を帰国者・接触者外来に送った後は自宅を待機していた。現在、症状は出ていないという。27日午前に検査を受ける予定。

三反園訓知事は会見で「女性は英国で感染したと推察できるが、調査中」とし、「引き続き手洗いやせきエチケットを徹底し、冷静に対応してほしい」と訴えた。

新型コロナウイルス感染者が確認された都道府県(26日時点)



新型コロナ

首都封鎖に現実味 世界の死者2万人超す
ホテル利用増へ知恵 五輪購入済みチケット有効
県内学生、上京に不安 関連記事
2、6、9、15、17、18、21、23

政府が対策本部決

安倍晋三首相は26日、新型コロナウイルスの感染拡大に備える改正特別措置法(新型コロナ特措法)に基づく政府対策本部の初会合を首相官邸で開催した。西村康稔経済再生担当相ら関係閣僚に基き、本格的な方針の策定を指示。首相は私権制限につながる緊急事態宣言を発令できるようになると、現段階では慎重な姿勢だ。対処方針の原案では、都道府県知事が要請する外出自粛や学校など施設の利用制限の期間は、行政機関や地方公共団体などは、基本的対処方針に基づき、感染防止策を総合的に推進することになる。特措法に基づく対策本部の設置で、感染が拡大する都道府県などでも対

異動時期の対策強化を
鹿児島大学大学院・西順一郎教授の話 最近、海外渡航から帰国した人が日本で発症する例が急増している。鹿児島でもそれが起き

県は27日未明、対策本部会議を開き、今後の対応を話し合った。異動時期の対策強化を

たということ。今後は短期間で、国内の患者が急増している地域から移ってきた場合も同様のことが起きることも想定される。県内で感染が広がっているわけではないの底など、これまで通りの感染対策を続けるべき。今回の患者はマスクを着用しており、

「21日程度が適当」との目安を示した。

(3面に関連記事)

政府の専門家会議は26日午前、国内の感染状況について「まん延の恐れが高い」とする報告書を了承。その後、持ち回り閣議で対策本部設置を決定した。首都・東京での感染者急増などを踏まえた。国民生活や経済に甚大な影響を及ぼす事態になれば、本部長を務める首相が緊急事態宣言を決定し、発令できる。

行政機関や地方公共団体などは、基本的対処方針に基づき、感染防止策を総合的に推進することになる。特措法に基づく対策本部の設置で、感染が拡大する都道府県などでも対